

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	「重度化や終末期に向けた方針の共有と支援」 看取り指針もあり、かかりつけ医や訪問看護事業所との連携も整い、職員がチームとして取り組む時期にきている。	看取り看護の体制を確認し、職員の意識の統一を図る。	看取りの外部研修会に参加し、事業所内での勉強会を開催する。又、看取りの体制も検討し、不安無く対応できるように話し合いをし、取り組んでいく。	6ヶ月
2	35	「災害対策」 避難所の確認に小学校の担当者に会い、協力体制の確認を行なったが、実際に起きた場合に不安はある。	防災隊を結成し、災害時有る程度は事業所のみでの対応で行なう体制を築く。	防災担当者が、物品について一覧表を再検討し、非難訓練時や、毎月の職員会議時にシミュレーションを用い実際活用出来るようにする。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。